

市民の皆さまと心つながる議会を目指して

津市議会

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また平素は、津市議会の議会活動に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年また、長引くコロナ禍がもたらした社会変化により、人と人との緊密なコミュニケーションが制限され、これまでは当たり前に思っていた日常の一つ一つが、大変貴重なものであったことに改めて気付かされた1年でした。

このコロナ禍の影響を受け、市民の皆さまならびに参加選手や関係者の皆さまが楽しみにしておられた三重とこわか国体・三重とこわか大会が中止となり、その他にも多くのイベントが中止や縮小を余儀なくされました。

津市議会といたしましても、経済活動や市民生活が大きくダメージを受けた状況に鑑み、コロナ禍を克服するため、新型コロナワクチンの接種が着実に実施されるよう、また、各般の支援策が必要な方に広く行き渡るよう、市執行部と丁寧な審議を重ねてまいりました。

昨年は、本会議において約270件の議案審議と260件を超える一般質問を行いました。本会議・委員会については、ライブ映像や録画映像の配信を行っているほか、市議会ホームページにおいても会議録を掲載しています。また、定例会・臨時会ごとに「つ市議会だより」を発行し「開かれた議会」として、今後も市民の皆さまに身近に感じていただける議会を目指してまいります。

津市自治会問題については、津市議会として初めての百条委員会となる「特定の自治会と行政の不適切な執行疑惑に係る調査に関する特別委員会」を立ち上げ、13回に渡り執行部・議会を含めての調査を行い、最終報告書を作成しました。今後は調査の過程で明らかとなった問題を真摯に受け止めるとともに、議会一丸となり再発防止に取り組み、市民の皆さまの信頼回復に努めてまいります。

津市議会は2月に新たな体制となりますが、二元代表制のもと、これまで以上に市執行部との健全な関係を保ちながら、市議会としては、議決・監視・政策提案等、それぞれの機能を向上させることにより、市民の皆さまの多様な意見を市政にしっかりと反映できるよう、全力で取り組んでまいります。

本年が市民の皆さまにとりまして、健康で笑顔あふれる1年となりますことを心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。